

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈12月7日（金）放送分〉

テーマ：「奄美図書館12月行事及び事業の案内」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。

いよいよ平成24年（2012年）の月カレンダーも残り1枚となりました。暦の上で、きょう7日は「大雪(たいせつ)」。奄美では無縁なようですが、いよいよ本格的に雪が降り出す頃となり、また、日に日に日の出も遅くなって、今月21日の「冬至」の日は一年で最も夜の長さが長くなります。

「冬至」は、「一陽来復(いちようらいふく)」とも言われ、陰(いん)が極まって陽(よう)が戻ってくることで、つまりこの日を境(さかい)に運が向いてくる転換の日でもあるそうです。この日に「柚子湯(ゆずゆ)」に入る風習がありますが、これには無病息災(むびょうそくさい)や厄払い(やくばらい)の験担ぎ(げんかぎ)の意味もあり、「柚子」には「融通(ゆうずう)を利かす(き)」の語呂合わせ(ごろあ)もあるとの話です。

さて、奄美図書館では、所蔵資料の点検整理などを行う特別整理作業のため、昨日（12月6日）まで休館させていただきましたが、皆様のご理解とご協力により、予定通り作業を終了することができました。ありがとうございました。本日（12月7日）から、通常開館となりますので、ご利用をお待ちしております。

また、今年の「ネリヤカナヤ創作童話コンクール」には、大島地区内の小・中・高校44校の児童・生徒から273点もの応募がありました。今年もたくさんの応募ありがとうございました。その中から最優秀賞7点、優秀賞18点、学校賞5校などを決定し、12月9日、日曜日には表彰式が行われます。入賞作品を含む全応募作品は、奄美図書館でご覧いただけますので、ぜひ一度手にとって読んでみてください。

それでは、奄美図書館の12月開催の催しものについてご案内します。

まずは、郷土コーナー企画展です。今回は、奄美群島の日本復帰運動を支え、奄美の芸能研究に貢献した「文 英吉(かざり えいきち)」にスポットを当て、文 英吉(かざり えいきち)が収集した数々の島唄関係の資料を展示します。

展示期間は、12月9日から来年1月9日まで。場所は2階郷土コーナーです。この機会に、島唄をはじめ、奄美の伝統芸能や民俗研究に多大な功績を残した郷土史家「文 英吉(かざり えいきち)」について学んでみませんか。

郷土コーナー関係からもう一つ。『奄美群島日本復帰記念講演会』では、「奄美群島日

本復帰60周年に向けて」をテーマに、復帰当時をよく知る、楠田豊春さん、崎田実芳さん、大津幸夫さん、花井恒三さんらの参加によるシンポジウムを開催します。来年の復帰60年目を迎えるにあたり、復帰の歴史に何を学び、後世に何を伝えていくか、一緒に考えてみませんか。

期日は、日本復帰の日の12月25日、火曜日、午後2時から3時半まで。場所は4階研修室です。どなたでも参加できますので、興味のある方はお気軽にご参加ください。

次に、12月16日、日曜日には『クリスマスおはなし会』を開催します。午前10時半から11時半までの第1部は乳幼児を対象に、午後2時半から3時半までの第2部は幼稚園児・小学生を対象にした内容で、大型絵本やパネルシアター、エプロンシアター、手遊び歌など、たくさんのプログラムを用意しています。また、ネリヤカナヤ創作童話コンクール入賞作品の大型紙芝居などの新作も準備しています。

場所は、4階研修室で、事前の申込みの必要はありません。集まったお友達には、サントさんからの素敵なプレゼントや、バルーンアートなどもありますので、ご家族でのたくさんのお越しをお待ちしています。

本日、お知らせしました催しについては、県立奄美図書館のホームページでも詳しくご案内していますのでご覧ください。お申し込み、お問い合わせについては、電話番号は52-0244（繰り返して言う）、FAX番号は52-9634（繰り返して言う）まで。

最後に、年末年始の休業期間のうち、12月29日・30日と年明けの1月3日は、奄美図書館を臨時開館します。調査相談や貸出予約などのサービス提供はできませんが、本の貸出や返却、閲覧室や学習室の利用はできますので、是非お越しくください。

今年もあと僅かとなりましたが、冬の夜をゆったりと読書で過ごしてみませんか。県立奄美図書館でした。来週もまたこの時間にお会いしましょう。